

日本マクドナルドホールディングス株式会社
2022年 第2四半期決算発表



日色 保



日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役社長兼CEO



2022年第2四半期実績ハイライト

全店売上高	3,420億円 +10.0%
既存店売上高 前年対比	+9.1%
既存店売上高	27四半期連続プラス
売上高	1,682億円 +11.2%
営業利益	174億円 +1.5%
経常利益	173億円 +2.6%
当期純利益	110億円 +0.9%

これからの成長に向けた3本柱

ブランド

信頼と愛着の更なる醸成



メニュー・バリュー

より幅広いお客様ニーズや食事シーンに合わせた提案



店舗・デジタル・ピープル

お客様の期待の一步先を行く体験の創造



“おいしさとFeel-goodなモーメントを、いつでもどこでもすべての人に”

ブランドとしての社会的責任を果たすために

安心して美味しいお食事を



品質・衛生管理の
徹底と透明性

Made For Youで
できたてをご用意

地域の仲間にサポートを



ドナルド・マクド
ナルドハウス支援活動

子供のスポーツ
教育・地域の
安全支援活動

働きがいю全てのの人に



多様な人材
登用と育成

女性の活躍推進

フレキシブルな
働き方の推進

地球環境のために



持続可能な
食材の調達

プラスチック削減

温室効果ガス
排出の低減

具体的な取り組みを[HP](#)でご紹介しています。

メニュー・バリュー

変わらないマクドナルドメニューの強み

マクドナルド「ならでは」美味しさ・定番メニュー

コアメニュー



ファミリー



バリュー



折々の季節感や楽しさを提供する期間限定メニュー



より幅広いお客様・食事シーンの提案 (例)

大人のお客様にも楽しんでいただける本格派メニュー



ランチ以外の様々なシーンに合ったメニュー



より幅広いサイドメニューの選択肢

えだまめコーン



サイドサラダ



ヨーグルト



店舗投資の加速

出店の強化

新規出店



既存店の体験向上

リビルド（建て替え）



既存店のキャパシティ向上

厨房機器の増強・更新



リロケート（近隣移転）



リイメージ（店内改装）



客席・ドライブスルーレーンの拡張



新店・リロケート

店舗数

リビルド

改装

2022年上期実績

23店舗

2,951店舗

4店舗

49店舗

デジタルの取り組み

マクドナルドの強み = 幅広いアクセス手段

店舗へのアクセス

- 店内飲食・テイクアウト・ドライブスルー
デリバリーの全てにおいて快適な
お客様体験を提供

アプリを使ったアクセス

- 日本最大級のマクドナルド公式アプリを
ハブとしたお客様との接点
- 幅広い利用方法に対応したモバイルオーダー
 - ・ 店内飲食（テーブルサービス含む）
 - ・ テイクアウト
 - ・ 駐車場受け取り（パーク&ゴー）



デジタル体験のシームレス化を推進

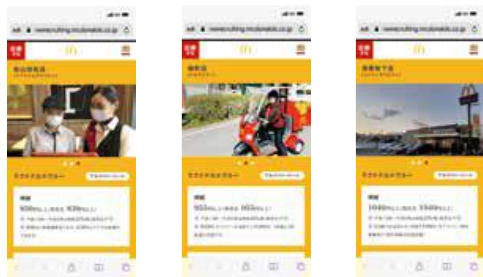
- モバイルオーダーの全チャネル対応
ドライブスルー対応を全国展開
(2022年秋 全国展開予定)
- デジタルタッチポイントの統一
マックデリバリーアプリのマクドナルド
公式アプリへの統合
(テスト実施中)
- フロントカウンターでのモバイルオーダーの
利用率は約14%
- データ活用によるデジタル・店頭のおもてなし最適化への挑戦 など



ピープルの取り組み

採用・登用の強化

- 多様な採用・勤務スタイルにより幅広い人材を確保
- 店舗における社員比率の増加
- 地域社員制度など、新しい制度の活用



教育・育成の強化

- ハンバーガー大学 オンライン授業の活用によるトレーニングの効率化
- デジタルを活用したクルートレーニンング、オンラインエンゲージメント強化による育成と離職抑制



 **Digital Crew Room**

サイトコードを入力してください
店舗番号の10桁の数字を入力してください。
店舗番号の10桁の数字を入力してください。

サイトコード

ログイン

顧客体験の更なる向上

- おもてなしリーダーの採用 ホスピタリティの強化
- 高度な店舗コンサルテーションを提供する組織・プロセスへの移行



下期の展望



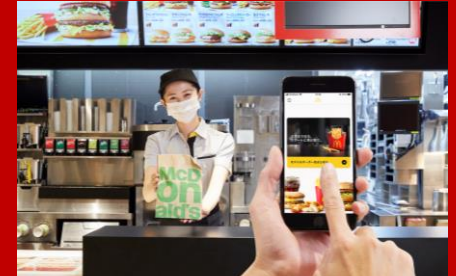
おいしくて
楽しいお食事



QSCと利便性の
向上

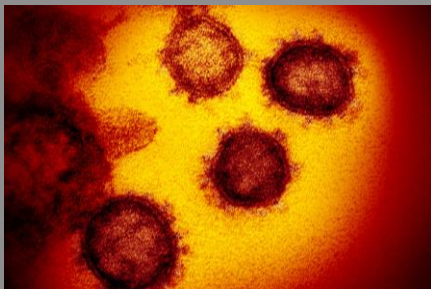


ブランドへの信頼



顧客ニーズへの
対応

外部環境の変化



新型コロナウイルス



地政学的問題



原材料高騰




円安の進行

吉田 修子



日本マクドナルド株式会社
執行役員 最高財務責任者



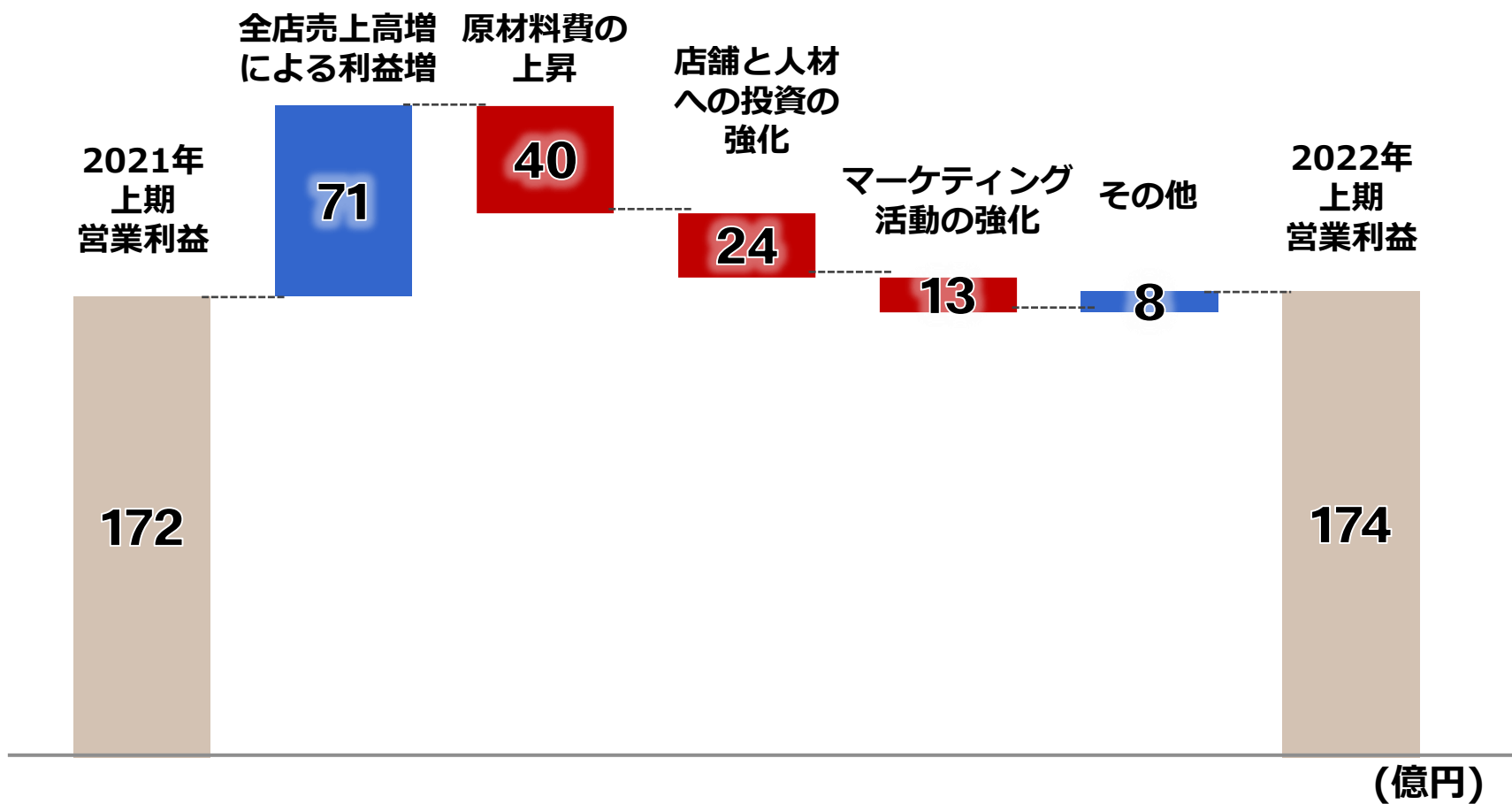
2022年上期 業績概要

(億円)

	2021年上期実績	増減 前年同期比	2022年上期実績
全店売上高	3,108	+311 +10.0%	3,420
既存店売上高 (対前年比)	+9.3%	-	+9.1%
売上高	1,512	+169 +11.2%	1,682
売上総利益 (売上総利益率)	310 (20.5%)	+3.0% +9 (△1.5%)	319 (19.0%)
販売費及び一般管理費 (対売上高比)	138 (9.1%)	+5.0% +6 (△0.5%)	145 (8.6%)
営業利益 (営業利益率)	172 (11.4%)	+1.5% +2 (△1.0%)	174 (10.4%)
経常利益 (経常利益率)	168 (11.2%)	+2.6% +4 (△0.9%)	173 (10.3%)
当期純利益 (当期純利益率)	109 (7.2%)	+0.9% +0 (△0.7%)	110 (6.5%)

当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

2022年上期営業利益 変動要因分析 (対前年比)



(億円)

2022年通期 業績見通し(変更なし)

(億円)

	2021年実績	増減 前年比	2022年見通し
全店売上高	6,520	+259 +4.0%	6,780
既存店売上高 (対前年比)	+9.7%	-	+3.5%
売上高	3,176	+153 +4.8%	3,330
営業利益 (営業利益率)	345 (10.9%)	+1.4% +4 (△0.4%)	350 (10.5%)
経常利益 (経常利益率)	336 (10.6%)	+1.1% +3 (△0.4%)	340 (10.2%)
当期純利益 (当期純利益率)	239 (7.5%)	△10.2% △24 (△1.1%)	215 (6.5%)

当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により上記の予想数値と異なる可能性があります。



McDonald's




補足資料

デリバリー



	McDelivery	Uber Eats	出前館	合計
2019年12月	257店舗	604店舗		710店舗
2020年12月	730店舗	1,303店舗	887店舗	1,518店舗
2021年12月	909店舗	1,697店舗	1,673店舗	1,979店舗
2022年 6月	931店舗	1,808店舗	1,862店舗	2,114店舗



本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。今後、様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身の判断にてお願いいたします。